

岩田食品株式会社について

岩田食品は愛知県で1951年に創業しており、
和・洋総菜、サラダ、お弁当の企画、製造、販売を主な事業としています。
創業以来、おいしく食べて健康にをモットーに、
食卓においしさと健康をたやすことのない商品を提供してまいりました。



主な事業・取引先

<主要製品>

- ・ポテトサラダ
- ・ごぼうサラダ
- ・いか里芋煮

<主な事業>

- ・デリカ運営事業
- ・販売事業

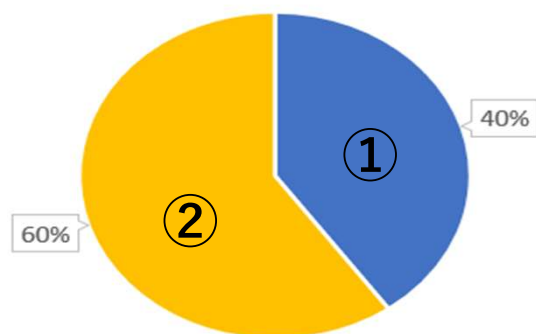
自社の強み

- ・少量多品種生産が可能
- ・フレッシュ原料の使用技術
- ・一貫した製造・販売・物流網
- ・日配総菜、真空殺菌を行う総菜など保存性や用途の異なる多様な商品群を持っている

岩田食品株式会社について

IWATA FOODS

岩田食品事業内訳



① デリカコーナー運営事業

主に量販店様のデリカコーナーの委託運営を実施しております。（約60店舗）
揚げ物・お弁当・お惣菜の製造、販売をしております。

② 販売事業（納品）

主に量販店様、問屋様、外食様に業務用及びトレーパック製品の供給をしております。
関東・中部・関西・中四国へと毎日チルド便を運行しております。（LL商品については全国配送）



デリカコーナー運営
バランスのとれた健康的な食生活のお手伝い



「和saiの国」
“和”をベースとした
新感覚のDELI



V PALETTE
四季を感じる野菜や食材を
使用した洋惣菜ショップ

会社としてなぜ新規事業にチャレンジしようと思ったのか？

既存事業の現在

惣菜製造を中心に事業を展開し、
長年培った商品開発力と
製造技術を活かして事業を成長
させてきた。

感じている変化・危機感

国内人口減少



外国人労働者の増加

新規事業で目指すこと

変化する市場環境に対応
できる新たな収益の柱を作る

今回の事業案を設定した背景

こうした背景から、[インドネシア技能実習生の定着支援] を今回の事業テーマとして設定

事業テーマの設定きっかけ

インドネシア労働者の増加
×
生活面の支援が十分ではない

検討で見えてきたこと

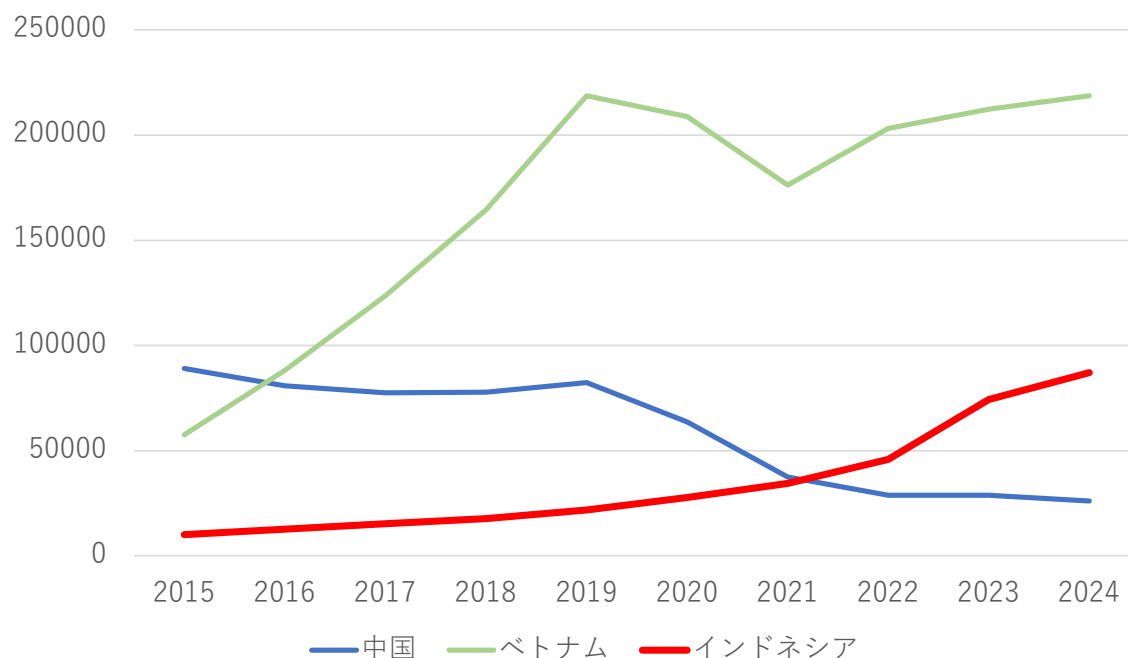
『ヒアリング結果』

- ・ 母国料理を食べる頻度が高い
- ・ 自炊中心の生活を送っている
- ・ 休日に作り置きをしている
- ・ 食費や調理負担を感じている
- ・ ハラルへの配慮

選んだ理由

- ・ 食生活は生活満足度に直結
- ・ 当社の総菜製造技術や商品開発力を活かせる
- ・ 食品会社として参入しやすい領域

技能実習生の国籍別推移とインドネシア市場の可能性



市場変化

- ・ 中国人技能実習生は減少傾向
- ・ ベトナムは最大規模だが、伸び率は鈍化
- ・ インドネシアは2015年比で約8.6倍に増加

なぜインドネシアに着目するのか

- ・ 今後も受入拡大が見込まれる
- ・ イスラム教徒が多く食の制約が存在
- ・ 食生活支援ニーズが高い可能性
- ・ 当社の食品開発力を活かせる市場

インドネシア人技能実習生は2015年の10,064人から2024年には87,000人へ増加し、成長率は約558%。今後の外国人材市場において重要なターゲットと考えられる。

今回 取り組む事業

海外から来日する技能実習生等外国人材の、日本での食生活の不安に対して、
当社の惣菜製造技術と商品開発力を活かし、
外国人材の生活満足度向上と企業への定着率向上を実現したい。



誰に

技能実習生
受け入れ企業へ



課題・ニーズ

毎日の自炊負担
食費を抑えたい
ハラール対応食品が少ない



どう解決するのか

インドネシア向け時短調理
食品・惣菜の提供

技能実習生の定着支援の実現に向けて、
インドネシア人材を受け入れている企業様と
パートナーを組んで取り組んで行きます！

惣菜製造技術
商品開発力

×

インドネシア人材
受入企業
ハラール等の制約や
現地の食習慣の知見